

住民協ひろば

久木小学校区住民自治協議会 広報 <特別号第2号>

<編集・発行>

久木小学校区住民自治協議会
逗子市久木 2-1-1

・発行日：2018年10月末日

・発行部数：5700部

【巻頭メッセージ】「地域ニーズ」に基づく企画力

久木小学校区住民自治協議会 会長 田倉由男

全戸配布の2号です。私たちの久小校区住民協も2年目を迎えているわけです。昨年の1号で“住民協”ってご存知ですか？と記し認めました。周知度はわかりません。でも、私たちは毎月発行のA4・4頁の“住民協ひろば”を、年1回のこの全戸配布号を発行しつづけます。

今回の2号では、部会活動の二つの部会の現況から、住民協の方向性を再考したいと思います。

☑子ども部会（みんなの食堂） ＊詳細は7頁参照。

この活動の特筆すべきことは、運営スタッフの要である厨房メンバー（20数名）の若手・シニア世代が見事に融合し、毎回140食の料理を和気あいあいと提供している光景です。

☑ふれあい部会（コミュニティサービス） ＊詳細は6頁参照

社協、西部・中部地域包括のスタッフも参加し、部会員とともに議論を積み上げています。現在、山の根地区でケーススタディを展開しています。そこには、リアルな地域ニーズがこころがっています。

原田教授（日本福祉大学）は逗子市福祉セミナーの締めくくりで——重要なことは、「地域ニーズ」に基づく企画力です。と、いっていました。この企画力にネットワークとコーディネート力が加味されます。

みんなの食堂における、若手・シニアの融合はネットワークの拡大により、新しい変化をもたらせてくれます。見える地域ニーズ、見えない地域ニーズに気付く時、意識する時、そこに住民主体の活動があります。そして、座談会（2頁、3頁参照）では、30代～70代の6人の女性の素晴らしい笑顔と地域と生活に根付いた発言に感動しました。

私たちの久小校区住民協の存在価値をささやかですが信じたくくなりました。

自分たちのまちを 自分たちでつくる

毎日の暮らしを安全
に快適で安心して過
ごすために、必要な
のは「地域力」です。

久木・山の根の地域
力を高める活動を行
う「住民自治協議会」
について地域の皆様
にお知らせすること
を目的に、本冊子を
久小校区内の全戸に
配布します。



(2018年2月26日「みんなの食堂」スタッフ集合写真)

特集・座談会「私の（考える）地域づくり」

久木小学校区在住で地域活動されている方々と集まり、地域づくりについて話し合いました。久木・山の根は様々な人材がおり、地域の可能性は大きいと感じられた座談会になりました。



●日時：2018年8月4日（土）10-12時

●場所：久木会館

●出席者：9名

田倉由男（座長）、小田鈴子、小林寿志
龍村敦子、石井達郎、小橋綾美、門脇茜
内山由香里、齋藤千夏

●編集：東浩司、及川カスミ

■住民からみた地域づくり

座長 本日は、お集まりいただき有難うございます。「地域づくり」をテーマに話したいと思います。久木小学校区も高齢化と人口減少が進むなかで、まちづくりをどのように考えますか？

小田 自治会は70代、80代が支えている現状があります。若い人たちがこの地域をどう育てたいと考えてくださるか。そこが大事ではないかと感じます。

小林 久木は色々な団体が50年以上の長きにわたり活動くださっているが、役員は80代を超える方が多い。今後を考えると、若い人が入らないと危機的な状況になると認識しています。

龍村 山の根自治会では、班長会やイベントを盛んに行なってきたことで、交流が活発になってきた。昔から住んでいる皆様が真面目で、若い世代にも受け入れられたのだと思う。

石井 子育て世代はまとまりがありますよね。集まると、自然発生的に何かが起きやすい。祭りやイベントを通して顔と顔を合わせることで、意識が共有できいくのだと思います。

門脇 私も家族で完結するのではなく、地域でつながりながら生活したいと望んでいます。年をとるのは嫌だと暗くならず、地域のこともライフワークとして楽しくやっていきたいです。

内山 逗子には若い人が中心になって自発的に活動しているグループがいくつもあります。それらをつなげ、広げるコーディネータ的な役割があると、もっと逗子のポテンシャルが高められるのだと思います。

小橋 逗子はタレント性のある人が沢山いて、一緒に何かするとワクワクします。

内山 そうしたタレント性のある人を一つにまとめる行政の働きかけに期待したいです。

齋藤 ご自身のテーマで動いている人を地域に引き込むには、コーディネーターが重要になりますね。

座長 コーディネートやネットワークなど、柔軟性が大事だと思います。



■これからの地域づくりは

座長 ところで、地域づくりの具体的なプランをお持ちの方はいませんか？

石井 家内が家庭菜園をしています。野菜づくりをする人同士の情報交換や、苗の交換などができる場所があるとよい。みんなの食堂の延長で、減塩食の提供もあれば有難いです。

内山 私たちも地元の野菜を使いたい。半径5キロで作られたものを提供できるとうれしい。

小橋 タレント性でいえば、包丁研ぎや傘の骨直しができる人も素敵です。

龍村 包丁研ぎの達人、山の根にいますよ。例えば、日を設けて自分たちの得意技を活かすコーナーをつくるアイデアはどうだろう？

石井 洋服の直しもあるといいですね。活動が少額でもおこづかいになって地域ニーズにもマッチングができると尚よいです。

小田 ふれあい部会で「今までボランティアでやっていたのに、なぜ有償？」と議論がありました。こうした活動は、地域のためにも自分のためにもなる。やりたい人は案外多いんじゃないかと感じます。



齋藤 私は隣市で取り組んだなかで、自治会単位や小学校単位それぞれに一長一短があると思いました。やりたい人、テーマを持っている人が誰かにつながる仕組みが理想です。

龍村 自治会もテーマで動くのでいいだろうなと思うところがあります。これから自治会は担い手が高齢化し苦しくなるかもしれないが、住民協という組織で少しゆるい活動を体験できるとよい。

座長 それができたら世の中が変わるかもしれませんね。今日は実に楽しいお話をありがとうございました。

【座談会メンバー・プロフィール】



田倉由男
久木小学校区住民自治協議会会長、長所は声が大きいこと。



龍村敦子
住民協ふれあい部会部会長、山の根自治会会長。本当は「女優」。



小田鈴子
ふれあい部会と子ども部会に参加。池子問題が活動の原点。



石井達郎
返子コミュニティパーク、田越川一斉清掃、等々の仕掛け人。



小林寿志
久木連合町内会会長、久木神社総代長、久木生まれ久木育ち。



小橋綾美
14年前に移住。主婦の頃から様々な市民活動に関わる。



内山由香里
みんなの食堂キッチンリーダー。お料理を通して地域貢献。



門脇茜
内山さんと同じく料理関係の仕事。地域で面白いことしたい。

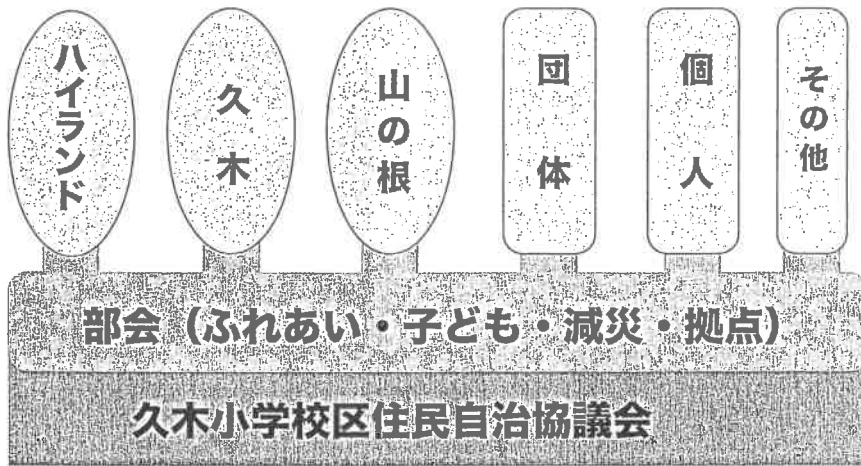


齋藤千夏
ハイランド在住。専門は都市計画、コミュニティデザイン。育休中。

住民協について

住民協（住民自治協議会の略）は、逗子市が地域の個性や実情に応じて地域づくりを行うために導入した仕組みです。地域全体で意見を出し合い、連携・協力することで様々な地域課題について協議し、地域の実情に応じた地域づくりを考える組織です。

久木小学校区では2017年4月に住民協が発足し、久木・山の根・ハイランドの地域に住む全ての住民、地域で活動する各種団体（自治会・町内会、ボランティア団体、事業者等）が構成員となります。久小校区住民協の活動は、主に部会を通して行います。



四つの部会（ふれあい、子ども、減災、拠点）の活動は、地域の住民はどなたでも参加することが出来ます。今後必要に応じて新しい部会の設置も可能です。それぞれの部会の活動内容は、「住民協ひろば」の部会報告の項に掲載しています。本部は全体の運営や広報、部会活動のサポートを担います。

役員一覧

役職	氏名	地区	部会等の役職
会長	田倉由男	山の根	久木会館代表
副会長	小林寿志	久木	拠点部会長
//	山崎徳次郎	ハイランド	
//	龍村敦子	山の根	ふれあい部会長
//	龍崎成人	山の根	
//	森田宗一	山の根	
理事	勝山吉久	久木	
//	松岡富春	久木	
//	山下隆文	山の根	
//	井上亮子	久木	まちのこそだち久木
//	森戸久朝	久木	
//	東 浩司	久木	子ども部会長
//	石井達郎	山の根	
//	中村恭良	ハイランド	
事務局長	鈴木為之	山の根	
書記	石井和夫	久木	
会計	関恵梨子	久木	
監査	上泉秀俊	久木	
//	仲西恒雄	山の根	
部会長	金子春夫	山の根	減災部会長

会員情報

逗子ハイランド自治会、久木連合町内会
 山の根親交会、山の根自治会、山の根会
 久木小学校、久木中学校、久小PTA
 久中PTA、久小学校支援地域本部
 久中学校支援地域本部、聖和学院、双葉保育園
 久小校区避難所準備会、地域防犯連絡所協議会
 (山の根、久木、逗子ハイランドブロック)
 久木地区青少年育成推進の会
 ずしっこあおぞら学童クラブ、久木子ども会連合会
 久木体育会、山の根体育会、ズシップ連合会
 (ハイランド、山の根、久木ブロック)
 若宮会、まちのこそだち久木、サロン久木
 名越里山虹の会、社会福祉協議会
 西部民児協久木/ハイランド、中部民児協山の根
 逗葉保護司会、久木商栄会、逗子ハイランド商店会
 逗子清寿苑、メディカルホームグランダ逗子
 ホワイトハウス管理組合

以上 39 組織（1 組織増加）
 個人会員 33 名（6 名増加） 合計 72 名

住民協の活動概要

会議

- ①役員会 毎月第1土曜 13:30～15:30、久木会館
会員の方は参加できます。
- ②連絡会 毎月原則第3月曜 9:30～11:30、久木会館
連絡や協議、広報誌チェック等。
- ③部会 四つの部会の会合は随時行われます。

広報

毎月、役員会開催日に「住民協ひろば」を発行します。会議で話し合われたことや決まったこと、他お知らせ、グループ紹介等の地域情報等を掲載します。年1回、全戸配布広報誌「住民協ひろば・特別号」を発行し、構成員の間で住民協活動の情報共有を図っています。

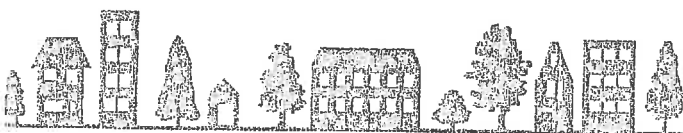
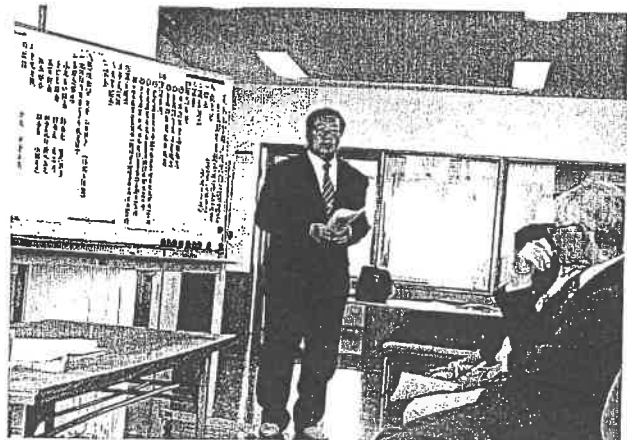
会員を随時募集しています。会員登録をご希望の方は、住民協事務局へお申し出ください。会員は総会で議決権を有し、広報等の情報が提供されます。(TEL 046-871-7775)

平成30年度の大きな変更点

- ① 久木会館で預かりあい保育の活動を定期的に行っていた「まちのこそだち久木」は子ども部会の事業として行われることになりました。
- ② 久木連合町内会が運営管理していた「地域活動センター・久木会館」の指定管理者を久小校区住民協が引き継ぐことになりました。

平成30年度 久木活動センター運営担当一覧

担当業務	氏名	備考
センター長	田倉由男	久木住民協会長
副センター長	小林寿志	久木連合町内会会長
会計(兼総務)	石井和夫	久木連合総務副部長
	茨田幸子	まちのこそだち久木
	杉原明美	まちのこそだち久木
総務統括	松岡富春	久木連合町内会副会長
総務	勝山吉久	久木連合総務副部長
//	鈴木勝	久木連合福祉副部長
//	大塚邦夫	山の根自治会
施設	鈴木俊義	久木連合防災部長
//	蒲谷助右衛門	久木連合防災副部長
//	松寄榮次	久木6丁目副会長
//	山本利為	久木連合文化部長
//	鈴木清	山の根親交会
監査	大森啓亘	ハイランド自治会
//	石井達郎	山の根親交会



子ども部会

みんなの食堂 部会長 東浩司

～久木・山の根の親子が地域とつながるキッカケの場～

「子ども食堂」は全国2000箇所以上で行われています。久木会館でもやってみたくと思ったところに、内山さんと門脇さんがキッチンリーダーを引き受けてくださったおかげで実現しました。半年の準備を経て、今年1月から毎月1回ペースで開催しています。

みんなの食堂の狙いは地域交流です。毎回100人以上で食卓を囲み談笑します。スタッフ同士も交流を楽しみ、地域につながる工夫を重ねながら、みんなで作る場にしたいと思っています。

みんなの食堂の出会いをきっかけに様々な動きが始まることも期待しています。未体験の方は一度食事しにきませんか？

地元で採れた野菜など食材のご寄付も歓迎です。



まちのこそだち久木 代表 井上亮子

～子ども達が地域の人々に育まれて成長する、保育を通して地域がつながる～

久木会館で未就園児の一時預かりの市民活動を始めて、今年で5年目。最初の「まちのこ」さんは、今では立派な久小生。会館の窓越しに元気な姿を見かけます。

どうしてこんな活動が始まったかという、それ以前は『保育』がとても少なかったから。でもこの5年間で、逗子市内外の保育の受け皿は飛躍的に増えています。

そりゃそうだ。子育ては核家族では無理という『あたり前』が浮き彫りになり、社会の変化を感じます。我が子がお世話になった保育園・幼稚園（延長保育）も預り枠を拡張して頑張っています。

職場併設の保育園、特別な語学環境を備えた保育園、多様な自主保育なども増えました。選択肢が多くて迷う人もいるくらい！

一方で、子育てが『遠いプロの手』にゆだねられていく違和感はありませんか？ 実は私も車で職場のある駅に併設された保育所に通わせたことあるんです。とっても良くしていただきました。でも残念ながらその保育園のある町も、保育士さんも子どものふるさとは断絶しています。今は育った地域に自分の良く知っている場所があるとか、自分の小さいころを良く知っている人がいるとか、そういう安定感が薄れやすい時代なんじゃないかな。

久木の子が、久木で可愛がられて、「うちのお母さん、近所のおばさんを頼ってたな」「膝擦りむいたとき洗ってもらったな」みたいな、『包まれてた感』って良くないですか？ そんな『地縁の善意』をシステム化するのは難しい。私たちができている自信もありません。でも「まちのこそだち」が目指すところはそれです。住民自治協議会の子供部会の目指すところも『子どものふるさとづくり』。保育のための一時預かりではなく、地縁の中で子どもが育まれるシステムとしての「まちのこそだち」です。ご興味のある方はご遠慮なく開催日の会館へお越しくださいね。



安心・安全で美味しい豆腐を作り、
皆様の健康に貢献します。

とうふ工房とちぎや

〒249-0001 逗子市久木 3-3-36
TEL 046-873-1112
営業時間 9時～18時半
定休日 毎週水曜日



経済産業大臣許可互第 3022 号
二葉冠婚葬祭互助会



齋場 逗子二葉会館

真心をこめてお手伝いします

(有) 二葉 365日 24時間受付
逗子市久木 1-2-6 046-871-2360

朝日新聞サービスアンカー

地域生活
応援企業

ASA 逗子葉山

〒249-0001 逗子市久木 1-1-11
TEL 046-871-2368 / FAX 046-871-1620

取り扱い紙 朝日新聞、日経新聞(小坪地区)、神奈川新聞、
産経新聞、東京新聞、各種スポーツ新聞

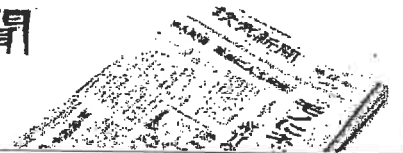
●折り込みチラシのご依頼もお待ちしております

読売新聞 逗子サービスセンター

〒249-0001 逗子市久木 3-6-1 TEL: 046(873)5948

140年以上の歴史 世界最大の部数

読売新聞



河野新聞逗子販売所

地元 久木を
盛り上げたい!

NIKKEI



逗子市逗子 1-7-1

毎日新聞社

TEL: 0120(17)2885

FAX: 046(872)0628

神奈川新聞

米・ビール・和洋酒・タバコのご用命は

ファミリーショップ ナガオカ

お電話一本で
お届けします 0120-178901

逗子市山の根 3丁目 7-8 (水曜日定休)

地域活動センター 久木会館

開館：月曜～土曜
受付：9時～16時
休館日：日曜

逗子市久木 2-1-1 (久木小学校横)

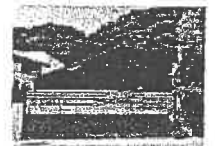
電話番号：046-871-7775

<https://www.facebook.com/hisagikaikan/>

Facebook
ページを
作りました

結・YUIコミュニティホール

<音楽ホール・ミーティングルーム>



逗子市山の根 1-3-13

E-Mail: vuihall-zushi@amail.plala.or.jp

編集後記

地域社会(コミュニティ)にとって情報共有は基本中の基本といえるでしょう。小学校区という生活圏とはあまり係わりのない区画割で作られた住民協にとって、努力しなければ情報共有は出来ません。広報誌という広報手段は、やや時間のずれはあるが、正確な情報を伝達することが出来ます。SNSはあっという間に情報が広がる利点がある一方、噂や風聞に支配される恐ろしさがあります。みんなの食堂という住民協の中に新しい一つのコミュニティが出来、情報共有の場として有効に作用し始めています。情報共有は出発点であって、これを起点にして本当の活動が始まります。

